

特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会

新春福祉交流セミナー開催要項

[趣旨]

スウェーデンの教育学者であり女性運動家であったエレン・ケイは、子どもは大人と同じように独自の存在であり子どもとしての権利が保障されるべきと主張し、20世紀は「児童の世紀」とであると主張した。ケイの主張はその後「ジュネーブ宣言（1924）」「世界人権宣言（1948）」そして「こどもの権利条約（1989）」と受け継がれ、日本も1994年に権利条約を批准した。然しながら、エレン・ケイが主張してから100年が経過した今日、周知の如く子どもをとりまく貧困問題や虐待問題等は一層深刻さを増している。また今年2月には「保育所落ちた、日本死ぬ」と刺激的な表現で、保育所入所待機児童の課題を提起し世論を巻き起こした問題も記憶に新しい。これらの難題に対峙し、子ども目線に視点を置き豊富な実践をもとに展開されている「子ども支援」の実際を学び、また保育・子育ての新たな視点を基とする問題提起から児童福祉の現状を再認識し、これからの展開を共に学びたいと願っている。

記

1. 日 時：平成29年1月7日(土) 13:00～17:00 (受付12:30～)
2. 会 場：大阪ガーデンパレス(〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-3-35)
TEL 06(6396)6211(代表)
3. 企画内容

～日本の社会福祉はこれでいいのか～

総 合 司 会：石井 勲 (大阪ソーシャルワーカー協会)
コーディネーター：大塚保信 (大阪ソーシャルワーカー協会)

開会挨拶 岡 本 民 夫 (NPO法人日本ソーシャルワーカー協会会長)

講 演

第1部 「こどもの貧困と居場所」

13:10～14:40 (90分)

庄保 共子氏 (特定非営利活動法人
地域包摂子ども支援センターこどもの里 館長・理事長)

質疑応答 14:40～14:55

第2部 「保育・子育ての新たな視点を問う」

15:15～16:45 (90分)

西尾 祐吾氏 (大阪地域福祉サービス研究所 所長)

質疑応答 16:45～17:00

4. 参加費 (資料代を含む) 一般1,000円 (本会会員無料)

主 管 大阪ソーシャルワーカー協会

主 催 特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8番地 森山ビル西館4階401号室

(Tel:03-5913-8871 Fax:03-5913-8872 E-mail:jasw@jasw.jp)

参加希望の方は、氏名、住所、Tel、所属を明記し、Fax、郵便、E-mail等でご連絡下さい